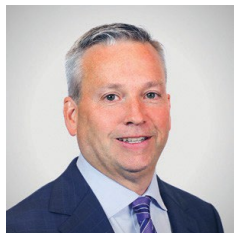


# マギヤレルのマーケットメモ



デイビッド・マギヤレル, CFA, CPA  
チーフ・インベストメント・オフィサー

2024年7月

**Past performance is no guarantee of future results.**

The **S&P 500 Index** is an unmanaged index of 500 companies used to measure large-cap U.S. stock market performance. **S&P 500 Sector Indices** measure segments of the U.S. stock market as defined by GICS®. The **Russell Top 50 Mega Cap Index Technology** is a subset of the Russell 1000 Index and represents the top 50 companies by market capitalization in the United States that are technology firms. Market (cap) capitalization: the total dollar market value of a company's outstanding shares of stock and is calculated by multiplying the total number of a company's outstanding shares by the current market price of one share. **S&P 500 Equal Weight Index (EWI)** - The equal-weight version of the S&P 500 Index. The index includes the same constituents as the capitalization-weighted S&P 500, but each company in the S&P 500 EWI is allocated a fixed weight - or 0.2% of the index total at each quarterly rebalance. **Forward Price-to-Earnings (P/E)** is the price of a stock divided by estimated forward earnings.

Indices are unmanaged and investors cannot invest directly in an index. An index does not charge management fees or brokerage expenses, and no such fees or expenses were deducted from the performance shown.

The information presented is not intended to constitute an investment recommendation for, or advice to, any specific person. By providing this information, First Trust is not undertaking to give advice in any fiduciary capacity within the meaning of ERISA, the Internal Revenue Code or any other regulatory framework. Financial professionals are responsible for evaluating investment risks independently and for exercising independent judgment in determining whether investments are appropriate for their clients.

There can be no assurance past trends will continue or projections realized.

「噂を買い、ニュースを売る」という諺があります。これは、将来の利益を裏付ける明確な証拠が出る前に買い、皆がいいニュースを聞いてその動きに乗ろうと決めた瞬間に売るということです。今年の市場では、モメンタムと人工知能(AI)に関連する狭い銘柄グループに牽引され、まるで「噂を買い、ニュースを買い、ディップを買い、リップを買い。今回は違うんだ。」というのが定説になっているようです。

2024年1月~4月において、ITセクターの上昇率は6.6%で、S&P500指数の上昇率6.0%をわずかに上回りました。このセクターは、通信サービス、エネルギー、金融、工業に次いで5番目に上昇したセクターでした。しかし5月1日から6月30日まで、テクノロジー・セクターは20%急騰し、現在では28.2%の年初来リターンでセクター・ランキングのトップに立っています。わずか8週間での大きな動きです(図表1参照)。この2ヶ月で何が変わったのでしょうか?業績に大きな変化は見られていませんが、その株価上昇の多くはAI関連企業によるもので、ただでさえ高いマルチプル(株価収益率などの指標)が上昇しただけです。

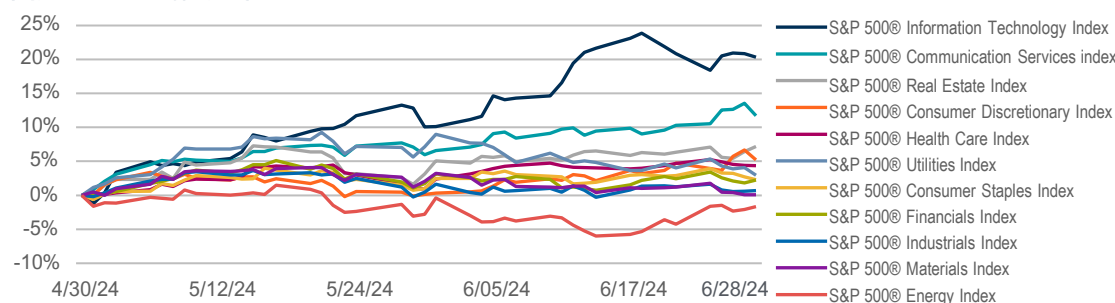
FOMO("fear of missing out"、買い逃すことへの恐れ)がここ2ヶ月間の上昇の大きな要素であると弊社は考えています。マグニフィセント・セブン、AI株やテクノロジー・セクターへのエクスポージャーが少なすぎる投資家は、この分野に参入したくなります。彼らは将来の利益を逃し、友人たちにさらに遅れをとることを心配しているのです。そして、これらの分野で巨額の利益を得た投資家は、今後も上昇が続く場合に備えて、これら勝ち組の銘柄を売却することを懸念しています。彼らは、あまり早くパーティーから去りたくないのです。

まるでこれが永遠に続くのであろうかと思っているようです。今の金融市場におけるこのFOMOの問題点は、この上昇相場が永遠に続くわけではないということです。FOMOが頂点に達するのは、ほとんどの投資家がすでに大幅な利益を逃した後です(図表2参照)。過去を見ても投資家は毎回同じような行動をとるのです。これでは投資にならないと弊社は考えます。リターンを追いかけても、決していい結果にはなりません。

今日の弊社からのメッセージは単純です。ここ2ヶ月のテクノロジー・セクターの大きな動きに伴う業績予想の急激な改善がなければ、このセクターは多くの好材料を織り込んでいることとなります。ちょうど18ヶ月前の2022年を見ると、すべての勢いは逆の方向に向かっていた。2022年はテクノロジー・セクターにとっては最悪の年であり、28%下落しました。S&P 500指数もその影響で18%以上下落しました。市場は急速に変化するものなのです。

現在の予想では、今年後半に入るとテクノロジー・セクターの収益成長率は鈍化し、他の多くのセクターの収益成長率は加速すると予想されます。株式市場に分散投資し、FOMOTレードを追わなければ、2024年後半に有益な結果が出ると弊社は考えます。

図表1: S&P500指数の各セクターリターン



Source: Bloomberg. Data from 4/30/24 - 6/28/24.

図表2: S&P500均等加重指数に対するラッセル・トップ50メガ・キャップ指数テクノロジーの株価収益率プレミアム



Source: Bloomberg. Data from 12/31/10-6/28/24.

情報提供のみを目的としています。投資家向けではありません。ここに掲載されている情報は、投資活動への招待、申し出、勧誘、推奨を意味するものではありません。

コンセンサス予測はブルームバーグ社が提供するものです。このレポートは、First Trust Advisors L.P.によって作成されたものであり、著者の意見を反映したものです。正確且つ信頼できる情報源とデータに基づいたものです。意見および将来の見通しに関する記述は、予告なしに変更される場合があります。この情報は、証券の売買の勧誘または売り出しを目的とするものではありません。